

令和8年3月定例会一般質問

3月5日、6日に行った一般質問では、8人の議員が質問しました。

また、傍聴者は延べ3人でした。「一般質問」は、各議員の質問や提案等により、執行機関の見解や考え方を明らかにするもので、大切な「政策論争の場」です。

なお、次ページからの一般質問の要旨は、質問者自身でまとめています。

一般質問の会議録は、各議員のページにあるQRコードからご覧いただけます。



議
会

No. 280



1	やまもと たかき 山本 隆樹	① 今後の「道の駅ファームス木島平」の運営は ② 木島平型教育とは
2	ゆもと ゆきひろ 湯本 行浩	① 中山間地域における農地の維持と次世代への継承は
3	ゆもと なおき 湯本 直木	① 「三期目への思い」の達成度は ② 今年度の議会定例会での諸般の報告等についての対応とその後
4	まるやま くにひさ 丸山 邦久	① 少子化対策プロジェクトと人口ビジョンについて ② 村民はどの産業で生活の糧を得るか
5	せき たつお 関 達夫	① 地球温暖化防止は一人ひとりの気付きから ② 集落の維持は誰が担う
6	えだ ひろこ 江田 宏子	① ファームス木島平のあり方について ② 実践的な災害対応の備えについて ③ 移住促進に向けた住宅の確保について ④ 職員の主体性と意欲を高める組織運営について
7	やまうら のぼる 山浦 登	① 令和8年度一般会計予算について ② 村政を村民に説明する方法について ③ 高齢者対策・過疎化対策の総合的な取組みについて
8	やまざき えいき 山崎 栄喜	① 財政運営について ② 集落支援員制度の活用について

議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269 (82) 3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会

編集：議会だより編集委員会



「共創の場づくり」が持続可能な村の玄関口

山本 隆樹 議員



一般質問会議録

今後の「道の駅ファームス木島平」の運営は

質問

事業費として借り入れた過疎対策事業債（過疎債）の償還状況は。

産業企画室長

平成24年度の用地取得に5230万円、平成26年度の本体工事に1億5000万円を借入れた。用地は既に償還が完了、本体工事分は令和9年3月に償還を終える予定となっている。

また、建設後、平成31年の交流ホールの空調工事1100万円、令和2年度の南側出入口自動ドア設置工事に230万円、令和4年度の交流ホール屋根塗装工事に290万円を借入れており、それぞれ令和14年、15年、17年の3月に償還期限を迎える。

元利償還金は、令和8年3月支払予定分が704万円余、未償還元金は、令和8年3月末の時点で2174万円余の見込み。

今後の進め方は。

村長
次の3案を中心に比較検討を行っている。

1案、全施設を取り壊すケース。
2案、老朽化したマルシェホール（A棟）を取り壊し、既存のそば処「村」、直売所、カフェがある交流ホールのある東部分（B棟）を残すケース。
3案、B棟を残しつつ農産物直売機能などを充実させ、小規模な施設を整備するケース。

これら3案について経費や費用対効果を試算するとともに、今後の進め方の検討をしている。

質問

道の駅ファームス木島平の運営は収益施設と公益施設という形で、行政主導でもなく、民間任せでもない、真の意味の「共創の場づくり」が木島平モデルを作り上げていく鍵だと思つ。

運営を地域の実情に関わっている農業振興公社、観光振興局の合同でできないか。

村長

提案の「合同による運営体制」は、農業振興と観光振興を一体的に

進める観点から、有効な手段の一つであると考え。道の駅の役割や機能、持続可能な運営のあり方を整備する中で、今後、運営主体や体制の見直しも含め、検討を進めていく。



ファームス木島平での「ナイトマーケット」の賑わい

木島平型教育とは

質問

木島平型教育の特徴は。

教育長

木島平型教育の特徴は、1つ目として協働する学び、2つ目として小中一貫型教育、3つ目としてコミュニ

ニティ・スクール、この3つの柱から成り立っている。これらの取組みを一体的に進めることで、教育の質の向上、子供たちが生涯にわたって学び続けるための基礎力の育成を目指すとしている。

1つ目の柱、「協働的な学び」では、東京大学大学院との教育・研究連携協定のもとで授業改善が行われ、平成23年に木島平中学校でも導入。授業で4人グループにわかれた子供たちが互いに意見を出し合いながら、課題解決に向けて学習を進めることが特徴。

2つ目の柱「小中一貫型教育」では、小中学校の施設が分離型であっても、教育理念や教育目標を小中学校で統一し、義務教育9年間を「4・3・2」年生に区分し、9年間を通じた学習カリキュラムを作成し、これに基づいて教育活動を行っていることが特徴。

3つ目の柱として、このような教育活動を支える仕組みとして、平成26年度に「コミュニティ・スクール」を導入し、村民の学校理解と協働を深め、学校支援を形にする仕組みが特徴となっている。



地域農業の維持・再生に向けた施策の整理

湯本 行浩 議員



一般質問会議録

中山間地域における農地の維持と次世代への継承は

質問

中山間地域では、高齢者世帯を中心に体力的負担や管理費用の問題から農地維持が困難となり、放置や荒廃が進んでいる。周辺農地への悪影響や鳥獣被害の拡大が懸念され、農業の衰退のみならず人口減少や地域コミュニティの弱体化等、地域全体の衰退につながる可能性について、村の認識を問う。

村長

農業従事者の高齢化や後継者不足により遊休農地が増加し、有害鳥獣の要因となるなど周辺農地への悪影響が生じており、深刻な課題と認識している。農地の荒廃や鳥獣被害拡大は人口減少といった共通課題を背景に地域コミュニティの維持にも影響すると認識している。

質問

荒廃農地の面積や増加傾向をどのように把握しているのか、今後の見通しについて分析や将来予測を行っているのか、実施状況は。

産業課長

農業委員会が農地パトロールで未耕作地を把握し、所有者へ利用意向調査を実施。結果を踏まえ、農業振興公社と連携して中間管理事業により遊休荒廃農地の増加防止に努めています。

質問

農地荒廃に伴う抜根・整地費用は個人負担が困難であるが、国の制度と連携した上乘せ支援や



荒廃した農地の様子

相談体制は。また、再生可能な農地を村や地域組織が一時管理・再生する等、公的関与のあり方は。

産業課長

抜根費用は国の遊休農地解消事業や村の補助金で対応し、上乘せ支援は現時点で考えていない。農業委員会の調査結果を踏まえ、農業振興公社と連携して担い手への斡旋や管理で対応する。

質問

中山間地域の小規模農地を荒廃させず次世代へ継承するため、地域に応じた柔軟なほ場整備と優良農地の明確化、担い手への農地集積の方向性について、5年10年の中長期的な工程表策定の考えは。

産業課長

現時点で中長期計画は未策定だが、畑地農家と意見交換し、ほ場整備・簡易整備の検討を進めている。所有者や耕作者の意向を踏まえ、優良農地の維持に向け、必要に応じ計画も検討する。

質問

農地荒廃防止や担い手対策、鳥獣被害対策、高齢者支援、地域コ

ミュニティ維持を関連付けた総合政策はあるのか、庁内横断的な連携組織やプロジェクトチーム設置の考えは。

村長

プロジェクト設置は難しいが、農地の遊休荒廃防止は村全体の課題である。子ども達と高齢者の交流事業等は効果が不明確なため、小規模対応は可能だが、個別事業で検討するのが適当である。

質問

高齢者の離農不安や若年層の流出が進む中、地域の縮小を受け入れられるのか、明確な意志と戦略で立て直し次世代へ引き継ぐ覚悟を村として政策で示すべきではないか。

村長

農地の荒廃は全国的課題と認識している。村では、水田は整備・機械化で維持されている。畑は採算性や作業負担の課題が大きい。担い手への流動化が見込める農地は整備を進めるが、一律投資は困難であり、多面的機能制度も活用し、集落での維持と総合対策を進める必要がある。



有言実行 残任期間を全力で

湯本 直木 議員



一般質問会議録

「3期目への思い」の達成度は

質問

①給食費の負担の軽減は。

②放課後子供教室の負担の軽減は。

村長

①給食費については今年度から無償化を実施している。

②放課後児童クラブは経年的に月額料金を減額してきている。「おやつ」の提供も始めており、令和7年度の登録者数は96名になっている。

質問

③ICT機器の導入は。

④外国語教育の学習環境の充実は。

村長

③一人1台のタブレット端末、パソコンの普及、小中学校全教室に電子黒板を導入。

④ルクセンブルクの件については、言葉だけでなく、国際感覚を養うという意味では大事な取組みの一つと考えている。

質問

小学校での学び直しの時間を設け学力の向上への取組は。

教育長

小学校では昨年度から、4年生以上で毎週月曜日の6時間目を「アドバンスタイム」として位置づけ、「自分分かなさを追求する」学び直しの時間としている。

質問

全庁的な少子化対策プロジェクトチームによる総合的な少子化子育て支援の実状は。

総務課長

施策の推進のための具体案の策定等、事業推進強化することを目的に令和5年4月に「少子化対策推進部会」を庁内の検討会として設置した。検討結果を第7次総合振興計画の各施策へ反映し、現在、計画をもとに事業を実施しているところ。

議会定例会での諸般の報告についての対応は

質問

堆肥センターの長寿命化について

「今後検討委員会を設置し」との回答があったが検討委員会は設置されたのか。

村長

現時点で検討委員会は設置していない。堆肥センターの長寿命化工事に関する事務を優先的に進めているところ。検討委員会は令和8年9月の設置を目標に進めたいと考えている。

再質問

今後のスケジュールはどうなっているのか。

産業課長

今回、長寿命化を図り令和15年度までは現施設を維持させたい。次の施設については令和10年度を目標に次の計画について村の考え方を示したい。

質問

観光振興局への指摘に対し「地域資源の活用(中略)事業成果が得られるように事業進捗を図ります」との回答だったが、進捗状況の把握は。

産業課長

事業成果の評価については観光振興局自身が自ら検証をすることが基本。村としては出している補助金が有効に活用されているかどうか、村の事務事業評価の中で検証していくこととなる。

質問

観光交流センターの使用については「今回の指摘を踏まえ(中略)村民や地域団体が利用しやすい運用方法の見直しを検討します」との回答だが、見直し検討はしたのか。

村長

現在見直しの検討はしているが、結論に至っていない。観光交流センターの会議室の一般利用を可能にする場合は条例改正が必要。遅くとも令和8年度の上半期には結論を出したいと考えている。



観光交流センター



木島平村の将来は、 産業が再生できるかどうかにかかっている。

丸山 邦久 議員



一般質問会議録

少子化対策と人口ビジョン

質問

令和7年度の出生数は10人であると説明があった。令和7年3月に発表された木島平村第7次総合振興計画によると、令和7年度から令和10年度の出生数の目標が平均で21人となっている。

令和7年度の出生数は、目標を大幅に下回っている。目標達成のためには、令和8年度から令和10年度の3年間に平均出生数で25人を達成しなければならぬことになる。

また、木島平人口ビジョンでは、令和12年3842人、令和22年3560人となっている。この目標達成も大変困難な状況になってきていると思う。

振興計画の出生数と人口ビジョンの人口見通しは達成できると考えているか。

村長

国勢調査の人口推移では、平成17年以降では5年ごとに300人から400人減少しているというところで、直近の5年間で400人を超える減少が見込まれている。出生数においても年間出生目標21人に対して

し、令和6年度では6人、令和7年度では10人と見込んでおり、人口ビジョンの目標達成は現時点では非常に厳しいと考えている。



こんな光景が村内あちこちに見られること。それが少子化対策。

目標は達成するために作るもの

質問

目標は達成するために作るものだと考える。第7次総合振興計画を始めて1年以内に難しくなってきたという答弁はいかがなものか。

村長

目標は、村の施策の方向性を示すもの。現時点、大変厳しいものであるが、目標は変えずにしっかりと取り組んでいきたい。

質問

子育て世代の移住者数の目標を52人（令和7年度から令和10年度）としているが、令和7年度は現時点で何人達成しているか。また、目標の52人を達成するための方策はなにか。

産業企画室長

52人という数字は、令和7年から10年の累計で、年平均13人となる。令和7年は現時点で10人なので年平均には至っていないが、令和10年までの目標とすれば達成の見込みはあると認識している。

雇用先の確保は？

質問

少子化対策の特効薬は、子育てをするのに不安のない所得を得ることができると雇用先の確保だと考える。

雇用先の確保のために何をするか。

村長

観光関連事業や農産加工など、村

内の地域特性を生かした分野への起業や創業支援を行っていく。また、村内雇用に限らず、本村に住みながら近隣市町村で働くことができるよう、暮らしやすさや通勤のしやすい環境の整備を行って、子育て世代に選ばれる村づくりを進めていこうと考えている。

どの産業で村民は糧を得るのか

質問

村民は第一次産業、第二次産業、第三次産業のどこで生活の糧を得ていけばいいと考えているか。村内と村外に分けて、各産業の就業者数を示してほしい。

村長

本村の就業者数の内訳については、第一次産業が23%、第二次産業が22%、第三次産業が55%となっており、既に第三次産業が雇用の中心である。農業を核に加工、販売、観光、サービス分野を組み合わせた産業構造によって支えていくことが現実的であると考えている。農業の集約化が進む中でも、関連産業を含めた雇用の創出により、村外も含め地域全体として、生活の糧を確保していくことが重要である。



地球温暖化防止は一人ひとりの気付きから

関 達夫 議員



一般質問会議録

**村のゼロカーボン事業は
広く理解を得ているか**

質問

地球温暖化の影響による猛暑で、農作物に高温障害が起きて、農家には打撃だ。異常気象に皆心配はするが、対策は他人事で見えぬふりをしていいる。地球温暖化対策は、喫緊の課題で行政の役割は大きい。令和7年度の各温暖化対策事業はどうだったか、反省すべき点は何か。令和8年度事業の意気込みは。

総務課長

各家庭への設備設置支援は利用を促せなかったが、一人一人にゴミの削減など、広い意味での温暖化対策の取組みの周知、啓発を積極的に進めていきたい。公共施設での太陽光発電の設置については、継続して検討を続け、温室効果ガス排出削減に取り組むための、情報提供、周知・啓発に努める。

質問

「気候市民会議」との名称で団体を創り、活動が各地で行われてい

る。事業の進め方のヒントとらえ、温暖化対策事業の進め方を見直しては。

村長

「(気候) 村民会議」というものを計画はしていない。広い意味での対

自然エネルギーの活用で地球環境を守ることが重要



馬曲川水力発電所の取水口 (左) とごみ取り装置 (右)

策として、太陽光発電設備の補助、住宅リフォームでの省エネ化の補助、生分解性マルチ補助、カヤの平ブナの植林再整備、民間の水力発電事業、池の平の蓄電事業などが村の動きとしてある。村民の皆さんも、自分がどういふうに温暖化対策に関わることができると考えていただけのよう、今後も継続して温暖化防止策の周知・啓発を行う。

**集落機能を維持するための
人手がたりない、誰が担う**

質問

村は各区への補助、交付金を増やさないととの質問に「補助金などに頼らない地区づくりを考えている」との回答。むらづくりは人づくり、人口減少、高齢化、働き手不足が進む中で、時代の流れに対応した地区づくりは、村民の多様な意見を聞く場を多く持つことが必要である。村長は聞く耳を持つて地域の声を聴いているか。

村長

地区づくり懇談会で多様な意見を伺っている。共通するような意見要

望は、区長会を通じ情報提供している。

また、地元出身職員を中心に地区担当制を設け、意見・要望を言いやすい環境としている。懇談会を実施していない地区もあるが、都合をつけて実施いただきたい。かねてより要望のあった、行政交付金の予算を今年を増額した。

質問

小集落は高齢化と世帯の減少でハード、ソフト両面の事業実施のための区費の徴収は大変重く、悩みである。金銭支援以外に何がするか。地区に元気を取り戻すためには、リーダー役をつくるのが大事だ。5年後10年後、集落の機能がどのような形になるか心配だ。

村長

区長会などを通じ各区の課題を再整理し、可能な支援があれば実現したい。リーダーを育てることは必要だが、あらたな役職につながる心配も生じる。区としての独自性と実践も担保しつつ運営していただきたい。各地区の活気が村全体の活気となる、出来る支援は行っていく。



将来を見据え 課題に前向きかつ着実に取り組む村へ

江田 宏子 議員



一般質問会議録

ファームス木島平の 再整備の構想は

質問

- ① 今後の施設のあり方と再整備の構想は。
- ② 村民の利用拠点としての考えは。

村長

① 村民の意見を踏まえ、計画を見直し、3案（A…全て解体、B…交流ホールⅡ直売所側のみ存続、C…交流ホール側を残す+マルシェホール解体跡に小規模施設再整備）を比較検討。今議会中に方向性を示す。（後日、C案で進めたい旨の報告有り）

災害時対策に実践的な備えを

質問

- ① あらゆる状況を想定した避難訓練（積雪期・荒天時・夜間等）

② 村民が日常的に利用する拠点機能は重要と認識しているが、財政負担とのバランスが課題。当面は用途を絞る必要がある。民間活力も含め、段階的に拡大を図ることも可能と考える。

の導入は。

- ② 集落ごとの「避難マニュアル」（特に積雪期、荒天時、夜間等）の策定状況は。
- ③ 避難所運営の課題は。寒さ・暑さ・夜間等を想定した「避難所体験」の取組みもしてはどうか。
- ④ 「原子力災害」の避難マニュアルの配布は。

村長

① マンネリ化も課題だが、スムーズな避難の定着という効果はある。冬季や夜間の訓練は安全面から、現在の時期や時間帯で継続。

総務課長

- ② 26集落中19集落で「自主防災組織」が整備され、村への避難計画の提出により、状況把握に努めている。積雪期や夜間の対応は課題。
- ③ ペット同行避難や、プライバシーに配慮した基準（スファイア基準）への対応など、課題はまだある。全村での避難所体験は難しい。集落等で検討を。
- ④ 近隣自治体と情報共有し、検討したい。

移住定住に向けた住宅対策は

質問

- ① 住宅確保の現状と課題は。
- ② 今後の取組みは。
- ③ 「中間管理住宅の考え方」（※下図）を提案。見解は。

産業企画室長

① 昨年度の移住相談は99件に対し、実際の移住は16人。

移住相談では、賃貸物件や、すぐに住める住宅、新築用地のニーズがあるが、即応できず、初期段階で本村が候補から外れる「機会損失」が生じている。

活用可能と見込まれる空き家は約40件あるが、空き家バンクへの登録は進んでいない。

② 空き家所有者の負担軽減を図り、市場に出しやすくすることが重要。「仲介手数料補助」の新設や「家財処分費支援」の拡充等で、空き家バンク登録を促進する。

また「将来の相続や管理の不安」に、早期から向き合う意識の醸成や相談体制の継続で、空き家の活用と移住促進につなげたい。

- ③ 有効な手法の一つと認識。まずは空き家物件の掘り起こしで、状況を見ながら検討していく。

中間管理住宅のイメージ



- ① 空き家所有者と村で賃貸借契約（10～12年ほど）
- ② 村がリノベーションして、希望者に賃借
- ③ 入居者は村に家賃支払い（2～3年ごと更新など）
- ④ 所有者は、村との賃貸借契約満了後、入居者に売却または継続で賃借

村長

② 現在、単身、若者夫婦向けのコンパクトな集合住宅の建設を進めているが、新たな若者住宅の建設も計画的に進めたい。

民間事業者もアパート建設等に参入しやすい環境整備を更に検討したい。

このほか
職員の主体性と意欲を高める
取組みについて質問しました。



村の事業・予算は、村の現状と、将来を見すえ、 村民の意向を十分組み込んだ上で計画を

山浦 登 議員



一般質問会議録

令和8年度一般会計予算を質す

国保税改定に疑義がある

改定案は、子育て支援給付金（福祉事業）の財源を医療保険の保険税に上乗せ徴収するもので、給付の可能性の無い子供のいない世帯も一律負担することは、国民健康保険制度の趣旨から逸脱しているのではないか。

質問

民生課長
子育て世代を社会全体で支える仕組みとする「子ども子育て支援金制度」の財源確保に向け、必要な財源を適正に確保するために事務を進めている。子供がいる・いないに関わらず、全ての方に負担をいただき人口の増加を図り、将来的に社会保障制度の担い手を増やすものである。

堆肥センター改修と施設の将来は

質問

堆肥センターの改修工事として、1億4058万円が計上されている。改修工事の内容、働いている職員の皆さんの環境改善の臭



議会で堆肥センター視察

産業課長
本工事は、主に鉄骨の補強、柱・梁の塗装、内部の壁と天井の補修、電気設備の更新を行う。約半年を見込んでいます。基本的に密閉式の施設で、今回の長寿命化工事では臭気等環境については改善するという事はない。

村長
現時点では今の施設の長寿命化事業を優先して進めている。村が新たな施設を整備する案に加えて、広域

連携や民間委託など、村として施設を保有しない選択肢も含めて、「有機の里」事業については、引き続き取り組んでいく方向で検討していく。

財政調整基金減少に懸念

質問

財政調整基金の令和8年度末残高見込み額は、6億1561万円です。財政計画では基金は年々減少し、令和11年には、マイナス1億8500万円と推計されており、将来、村の事業が行き詰まる事が懸念される。

村長

財政計画は、実施計画に基づいて作成しており、特に歳入については、過大に見込むことのないようにしている。今後の財政計画については、歳入歳出、繰越額などこれまでの実績を踏まえ特別交付税や国・県の補助金、地方債を財源として活用し、一般財源に過度の負担が生じないように予算編成を行っている。各種事業や計画の見直しを事務事業評価に基づき行い、補助事業の活用などによる財源確保と合わせて健全財政の維持に努めていく。

村政の説明責任の判断は

質問

村から示される重要な内容を含む議案や資料を他に口外しない守秘義務、公表の制限を求められたことが過去に何度かあった。内容によっては理解できるが、期間が示されず議員が村民に説明し意見を聴く機会が制限され、疑問に感じる。

村長

議会に提示する資料としては、秘密資料として提示する場合があります。最近では、観光施設の民間譲渡など、内容によっては個人情報等で守秘義務を課すことがあります。議決事項として必要なものであれば極力提示することとしている。その基準や期限について特に定めていないが、その都度、議決を経た後に事業を公表するなど、その時点で公に公表できると考えている。

このほか
高齢化、過疎化対策の総合的
取組みについて質問しました。



財源不足等に充てる財政調整基金が減少するが 健全財政の維持は？

山崎 栄喜 議員



一般質問会議録

財政調整基金の減少は

質問

財政調整基金の令和7年度末残高見込み額が、令和6年度末より1億8千万円ほど減少する見込みだが、減少する特別な事情があったのか。

総務課長

令和7年度末の財政調整基金残高見込み額については、令和7年度3月補正予算を含む数値を根拠として算出している。

歳入歳出予算を全て消化した場合には、財政調整基金が1億8千万円ほど減少する見込みだが、事業完了により不用額が発生するので、実質的には減額は少額になる見込み。

質問

今後数年で財政運営に支障を来す、あるいは基金が枯渇する事態が発生しないか。しない場合には、その根拠を明確に。

総務課長

基金残高が急激に枯渇することは、今のところ考えにくい。

財政計画は、歳入は過大に見込むことのないよう査定し、収支不足額については、基金を取り崩した場合の推計を示している。

質問

健全財政維持のため、庁内行財政改革推進委員会を開催したか。

総務課長

普通交付税が増加傾向にあること



スキー場下から村中心部を望む

や、事業や計画の見直しを随時進めていくことにより、健全財政の維持を図っていく。今後の状況を見ながら、必要に応じて判断していく。

集落支援員の有効活用を

質問

新規作物の導入や特産品の開発を行うため、農業改良普及指導員経験者などを集落支援員として募集できないか。

村長

農家の意向を把握しながら必要に応じて検討する。

質問

福島県喜多方市では野菜の直売所の運営に、また、新潟県糸魚川市では高齢者サロンの開催に集落支援員を活用している。本村でも活用できないか。

産業企画室長

農産物の直売所等への出荷を支援することなどを業務とした、村農業振興公社で勤務いただく集落支援員の採用を検討中。

民生課長

通いの場ピースや楽々貯筋教室などを通し、介護予防事業を集落支援員が中心となって実施している。活動中のサロンや団体活動等に高いニーズがあることから、今後、介護予防事業においても開催を検討しているところ。今後も高齢者の皆さんのご意見やニーズの把握に努めながら、事業のあり方を検討していく。

質問

複数の集落を掛け持ちでよいが、人口減少と高齢化が進み、人材が不足している集落の事務を支援する集落支援員を募集できないか。

副村長

各地区から選出していただいで、その方を集落支援員に選任することも可能だと思ふ。

村としての集落支援員の目標はあるが、地区によって実情が違う。その地区の要望に沿った中で、兼業というパターンもあり、様々な面で検討いただいたうえで、相談して、可能な範囲で集落支援員を選任できればと考えている。

次回定例会の開催予定

6月議会定例会 ※現時点での予定です。

開 会 日 5月29日 (金)
 一般質問① 6月 4日 (木)
 一般質問② 6月 5日 (金)
 閉 会 日 6月12日 (金)

請願・陳情の受付締切日

5月14日 (木) 午後5時
 議会事務局へ直接お持ちいただき、
 事務局職員に説明をお願いします。



定例会・臨時会の会議録は、どなたでもご覧いただけます

会議録は、定例会・臨時会の本会議記録を載せています。

次の場所・方法で閲覧できます。

- ・役場2階の議会事務局での閲覧 (平日午前8:30~午後5:15)
- ・村公式ウェブサイトに掲載

木島平村 で検索して、次のように進んでください。

公式ウェブサイト (トップページ下段) の **木島平村議会** → **会議録**

※3月定例会会議録は、現在作成中のため次回定例会までに掲載予定です。



スマートフォン・タブレットからは、QRコードの読み取りでご覧いただけます。

議事を傍聴しませんか

本会議は、どなたでも傍聴できます。

傍聴席は、役場2階 議場後方が入口です。

また、本会議は、ふう太ネットで生放送および再放送をしています。

開会日と閉会日の再放送は、当日の午後10時からです。一般質問の

再放送は、ふう太ネット番組表または音声放送等でご確認ください。



議会だより 編集委員

委員 長 江田 宏子
 副委員 長 山本 隆樹
 委 員 山浦 登
 関 達夫
 湯本 直木
 湯本 行浩



ちょっと
いっぶん

議員の
ひとりごと

役場の2階に上がる階段の踊場に「敬天愛人(けいてんあいじん)」のブロンズ額がある。

「敬天愛人」は、中国古典『書経』などに由来するとされ、「天を敬い、人を愛する」という意味の言葉。これを座右の銘にしたのが幕末の英傑 西郷隆盛。さらにこの精神を社是に掲げたのが稲盛和夫率いる京セラである。

天を敬い、人を愛する。言うのは簡単です。しかし、AIが会議をまとめ、ロボットが寿司を握る時代でも、最後に「ありがとう」と言って頭を下げるのはやっぱり人です。

どんなにすごいコンピューターでも、あたたかい気持ちまでは作れません。世の中を本当に動かしているのは、やはり人の心。「敬天愛人」とは、どんなに時代が進んでも変わらない最新技術時代のアナログ最強パスワードなのかもしれない。